

北海道情報大学広報誌

ほのかまで

2019(H31)年2月20日発行

VOL
71



Johodai

北海道情報大学広報誌 ななかまど

2019 (H31) 年 2 月 20 日

CONTENTS — もくじ

VOL. 71

| | |
|----------|---|
| 01 | 表紙 |
| 02 | 目次 北海道情報大学紀要 30-1 |
| 03 | 建学の理念・使命・教育目的 |
| 04-05 | 座談会「学長に何でも聞いてちょう」Vol.8 |
| 06-07 | CAMPUSだより |
| 08-09 | 北海道情報大学開学30周年記念「宇宙展」 |
| 10 | 大学院学位論文等公開発表会・ゲーム開発者交流会 |
| 11 | 保護者と教員の懇談会・秋の食生活改善運動 |
| 12-13 | 新任教員の紹介コーナー 情報メディア学科 柿並義宏准教授 システム情報学科 佐藤隆雄講師 |
| 14-15 | 第30回蒼天祭を終えて |
| 16 | 第9回 留学生の日本語弁論大会 |
| 17 | 北海道ドローン選手権に参加して |
| 18-19 | ゼミ紹介 先端経営学科 藤本直樹ゼミ システム情報学科 豊田規人ゼミ 医療情報学科 加藤伸彦ゼミ 情報メディア学科 齋藤健司ゼミ |
| 20 | 2018年「日中交流サロン」に参加して |
| 21 | 情報メディア学部 2018年度卒業研究発表会 |
| 22-23 | 島田ゼミ10期生制作短編映画 札幌国際短編映画祭7年連続入選 |
| 24 | 江別市学生ボランティア報告・H I Uポスターデザインコンテスト2018表彰式 |
| 25,26,27 | サークル紹介 陸上競技部・硬式野球部・eスポーツサークル |
| 28 | この先生のもうひとつの顔シリーズ 先端経営学部 福沢康弘准教授 |
| 29 | 平成30年度 北海道情報大学公開講座終了報告 |
| 30 | 大学主要行事など(H30年7月1日～H31年1月31日) |
| 31 | 平成31年度 HIU カレンダー |
| 32 | ななかまど編集隊 編集後記 |

北海道情報大学 紀要 30-1

北海道情報大学紀要 (Memoirs of Hokkaido Information University) は、北海道情報大学が年2回定期的に刊行する学術誌です。これは、本学における教育研究活動の成果を学内外に広く公表することを目的としており、論文の他、解説、研究ノート、制作ノート、資料、報告などを掲載しています。本学のホームページにて公開しておりますので、内容をご覧になりたい場合は、右記の URL または QR コードをご利用ください。

《 論 文 》

- 情報社会の探究
坂本英樹
- 「総合的な学習(探究)の時間」における
高大連携プログラムの開発 (I) - 実態及
び期待と準備に関する調査分析 -
椿 達 五浦哲也
- 「総合的な学習(探究)の時間」における
高大連携プログラムの開発 (II) - 高等学
校における教育現場の実態調査から -
五浦哲也 椿 達
- 大学の教職課程における特別支援教育の講
義の重要性に関する試行的研究 - 通常の学
級の教員を目指す学生の講義前後の変容 -
五浦哲也

- 健康アプリを用いた大学生の睡眠実態お
よび健康障害の解明
佐藤浩樹 酒井雅裕 佐藤裕二

《 報 告 》

- 北海道情報大学による高校科目「課題研
究」の支援事例
向原隆 藤本直樹 松本紗矢子 椿 達
- 北海道情報大学男子肥満学生における体
組成の検討
佐藤浩樹 蔵本信比古
- デザインマンホールを題材とした地域学
習支援サイト開発
斎藤一 向田茂 福光正幸



https://www.do-johodai.ac.jp/kiyou/kiyou_30_1.html

建学の理念・使命・教育目的



建学の理念

「情報化社会の新しい大学と学問の創造」

北海道情報大学は、平成元年に我が国の情報化社会の黎明期に情報教育の新しい扉を拓いた、学園創立者松尾三郎博士によって、「情報化社会の新しい大学と学問の創造」を建学の理念として開学した大学です。

本学の使命・目標

IT社会の到来を告げる国際情報化の幕開けに先駆け、「情報」を大学名に取り入れて開学した北海道情報大学は、「産学協同の精神の下、豊かな国際性、創造力ある人間性を涵養し、実学に裏付けられた実践的な専門教育を通して、我が国の国際情報通信社会の進展に貢献する高度情報通信技術者を育成すること」を使命としています。

本学は、北海道開拓のシンボル・野幌原生の豊かな自然につつまれたキャンパスを研究・教育の創造的なふれあいの場として、あるいは先端的な通信教育により全国に展開されている学びの場において、「情報」を核にその応用範囲を広げていく「情報の総合大学」としてIT社会の発展に寄与するために、以下のような機能を果たすことを目標としています。

- ・ 情報を核とする高度な専門職業人養成機能
- ・ 国際性と豊かな人間性を育む教養教育機能
- ・ 情報に関わる通信教育の拠点機能
- ・ 地域貢献・産学連携機能

教育目的

21世紀において、われわれを取り巻くすべての社会構造は今やIT抜きでは成り立ちません。このような状況に鑑み、本学の教育では、明日の高度情報通信社会の担い手にふさわしい情報技術と知識、およびそれを支える幅広い教養と各種専門分野にまたがる知識の習得に裏打ちされた高度IT技術者を育成することを目標に掲げています。また、国際情報化に適応できる国際性豊かな人材、情報に付加価値を生み出す幅広い教養、感受性、モラル、コミュニケーション能力を備えた人間力に優れた人材を育成することを目指しています。

- ・ 生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力を育成する自己啓発教育
- ・ IT社会に役立つ高度な情報技術と専門知識を身につける実践教育
- ・ 国際感覚やモラルなど豊かな人間性を養う人格教育
- ・ コミュニケーションとプレゼンテーション能力を涵養する自己表現啓発教育
- ・ 自ら問題を見つけ出し、その解決のために自身で工夫できる問題発見・解決能力育成教育
- ・ 知識のみではなく生きるための知恵を啓発する全人教育



中道「学生サポートセンター事務室の中道です。今回は課外活動団体の代表者を中心に集まってもらいました。この年代の学生は課外活動を頑張っていて盛り上げようとしているので、紹介できたらと思っています。」

八重原「早速ですが、学長は昔どんな部活動に入っていたんですか？」

学長「体を動かすのが好きだったから、中学では野球、高校では陸上競技をやっていたよ。サイクリング部にも入っていたし、大学ではヨット部に入っていたね。」

古戸「出身地はどちらなんですか？」

学長「埼玉県の浦和だよ。」

古戸「自分の実家は埼玉に近いです。府中市です。」

学長「競馬場があるよね。」

古戸「そうです！家から見えます！どうして北海道へいらっしゃったんですか？」

学長「以前、会社勤めの頃に、3次元CADがまだ大学の研究レベルだった40年ほど前ですが、金型設計用のCAD/CAMシステムの開発を目指して、その分野で当時世界最先端の研究をしていた北大で1年間勉強してきてくれと言われて北海道との関係ができました。」

八重原「どういった経緯で学長になられたのですか？依頼を受けたのですか？」

学長「北大で1年間研究していた時の助教授が本学の3代前の学長で、その先生に「大学教授の口はありませんか？」と相談したら、「俺は学長だ。俺のところに来るか？」と言われ、模擬授業や面接はしっかりやらされましたが、めでたく平成21年9月1日に

赴任しました。その1年半後に学科長、さらに2年後に教授会の選挙で学部長になり、学部長2年目からは副学長を兼務して、2年前に学長になりました。」

田中・古戸「僕らが入学した年に学長になられたんですね！」

学長「そうだね。」

高野名「学長は何の科目を教えておられたんですか？」

学長「ロボット概論やロボットプログラミングだね。」

田中「部活の質問ですが、バスケットボール部は、より良い環境を目指して試行錯誤を重ねている状態です。何かに挑戦する際、気を付けることや心構え等についてアドバイスいただけるでしょうか？」

学長「仲間とうまくやるが一番大事だと思うな。中学の野球部の時、チームにまとまりがなかったんだよ。みんな自分の意見の主張ばかりして、ぶつかっていた印象があるな。今思うと、好きなことをやるために集まるんだから、みんなで心を一つにできれば良いよね！」

田中「ありがとうございます。」

古戸「自分も部活の質問なのですが、Yosakoiソーランサークルは部員が30人位で、部をまとめるのに大変苦労しています。

自分は組織の中で何ができるかということで悩んでいます。学長は学生時代組織の中での自分の役割等で意識していたことはありましたか？」

学長「学生の時は、まずは部活を楽しんでい

たよ。会社に入ってから、自分一人では大したことはできないので、得意な人をお願いするという意識していたね。いろんな得意分野の人を集めて物事を進める、自分一人ではやろうとしないというのが大事だと思うな。みんなで協力してやった方がいろいろできるからね。」

古戸「ありがとうございます。6月にYosakoiの本祭がありますので、ぜひ応援よろしくお願い致します。」

田中「上下関係について質問です。バスケットボール部では厳しい中にも話しやすい雰囲気、環境作りを意識していますが、厳しすぎない方が良いですかね？」

学長「上下関係は世の中ではずっとあるものだから、ある程度上下関係とつきあうのは大事なことだと思うな。先輩を敬い、後輩の面倒を見る、部活のこういった性質は社会の一つの縮図です。部員の心を一つにすることにもつながると思います。やはり、上下関係は一生あるものだから、うまく学ぶのが良いよね。」

古戸「学長の譲れないことだとか信念を教えてくださいいただけますか？」

学長「諦めない、逃げないということだね。人生思い通りにいかないことがたくさんあります。しかし、諦めたらそれで終わりです。滑りこみセーフでも良いんです。アウトになれば良いんだから。何があっても諦めずに逃げずに！これは私がずっと思ってきたことです。」

学長「ところで硬式野球部は現在何人部員がいるんだい？」

酒井「選手9人、マネージャー1人です。4年生が引退したので今は少ない部員数ですが、来年度に向けて準備を進めています。」



学長に何でも 聞いてちょう！ 《課外活動団体編》

中道「酒井さんは硬式野球部のマネージャーでもあります。映像研究部にも所属しています。だから、硬式野球部のPR動画も作っていたよね。オープンキャンパスの部紹介の発表を見たけど凄く良い発表だったのを覚えています。それを見たバスケットボール部やYosakoiソーランサークルは映像研究部にPR動画の作成を依頼したんだよね。今年度はこの年代がすごく横のつながりを作って主体的に頑張っていた印象があります。来年度も期待しています。」

加藤「学長は入学式など人前で話す機会が多いと思います。そんな時は緊張しますか？」

学長「最近はしないけど、若い頃はよく緊張していたね。」

加藤「緊張された時どうされてました？」

学長「緊張したらしたなりにやれば良いんだよ。場慣れが大事な。」

中道「加藤くんは学生実行委員長になったから、これから人前で話す機会が増えるから今の質問なんだね。」

学長「声が出れば大丈夫だよ！昔、緊張すぎて声が出なかったことがあったけど、あれはまいったね。経験して場数を踏むのが大事だと思うなあ。」



高野名「私は医療情報学科なので、近々病院実習報告会の発表があります。それで今から緊張しています。発表の時にみんなにちゃんと聞いてもらえるコツなどがありましたら教えていただけますか？」

学長「あがっても大丈夫なように準備を充分にし、練習を最低3回以上はやるのが大事だろうね。発表だけではなく、何事も準備が大事で、これだけやってきたんだから大丈夫だという自信になり、肝が据わります。」

高野名「情報大生の印象ってどんな感じですか？」

学長「全体的にまじめな学生が多いね。」

中道「確かにまじめな学生が多いです。課外活動団体もですが、逆に積極性が足りない印象でした。それを八重原くんが変えてくれた

よね。職員が司会をして進めていた体育館割当では、学生側が中心でやりますと言ってくれたし、イベント等では率先して手伝ってくれたね。それを見て他の課外活動団体の学生も負けじと頑張っていた気がするなあ。八重原くんが課外活動団体を学生主体で活発に変えてくれたと思っているよ。」

八重原「前までは、部ごとが孤立しているイメージでした。そこで横のつながりを作りたいと考えました。映像を作ってもらったり、体育館利用について部活同士で連絡を取り合ったり、大学に備品等の要求をした時もありましたね。今思っているのは、学部学科を超えての交流が少ないので、プロジェクトライアル等の講義で他学科と一緒にプロジェクトを進行してみたいと思っています。先ほどの学長のお話にもあったように、部活も講義も得意な人が知恵を集めて協力した方がより良いものになると思いますので。」

学長「学部、学科を超えての交流は大事だね。部活はその一つだよ。」

酒井「硬式野球部の相談なのですが、4年生が引退してから、みんなを引っ張ることのできるリーダーがいなくなりました。後輩たちに部を引っ張ってほしいのですがどう促せばよいですかね？」

学長「こうすればよいというのはなかなかないかもしれないよな。ケースバイケースなので。」

中道「リーダーは引っ張るタイプだけじゃなく、いろいろなタイプのリーダーがいてもいいんじゃないかな？1年生もまだ遠慮して

今回参加した学生



経営情報学部3年
バスケットボール部元部長
八重原 史貴



経営情報学部2年
バスケットボール部部長
田中 綺飛



経営情報学部2年
Yosakoiソーランサークル部長
古戸 真樹



情報メディア学部2年
硬式野球部マネージャー
映像研究部
酒井 幸穂



情報メディア学部2年
学生実行委員会 実行委員長
加藤 裕太



医療情報学部2年
ミニバレーサークル副部長
高野名 千都

いるけど、いろいろ考えているみたいだから。そこを上手く酒井さんが引き出してあげるのが良いよ。」

学長「酒井さんがヒントを出して選手を動かせる役割をするのが良いのかもね。」

酒井「頑張ります！」



高野名「最近、勉強、部活、バイト、実行委員会とやることが多くて困っています。やりたいことがたくさんあるけど、時間が足りないときの工夫についてアドバイスいただけますか？」

学長「一度に全てやろうとすると大変だよ。プライオリティ付けをして優先度の高いものからやっていくのが良いと思うよ。」

高野名・加藤「学生のうちにやれることをしっかりやっておかないとね！」

中道「そろそろ時間となりましたので、学長から一言もらって終わりたいと思います。」

学長「こちらこそありがとうございます。みんなと話せて楽しかったよ。」

八重原「普段ではなかなか話すことのできないことをお話しできて、とても良い機会でした。今日、自分たちは各部活動の代表としてきていますが、ここで得たアドバイスや考え方を部員に伝えようと思います。」

全員「ありがとうございました！」

CAMPUS だより

【さらに深まる南京大学との交流】（7月13日投稿記事）



本学の松尾泰理事長に、南京大学から「顧問教授」の名誉称号が贈られました。

本学と交流の深い中国の名門大学である南京大学から、陳駿前学長と濮励杰学長補佐らが7月5日（木）本学の東京事務所を訪問し、南京大学の伝統的な儀式に基づき、松尾理事長に顧問

教授の証書と記念バッジが授与されました。

北海道情報大学と南京大学の関係は、35年前の1983年に南京大学の卒業生を中心とした研修生20名を、本学のグループ企業である（株）SCCで受け入れ、情報システム開発の研修を2年間行ったことからはじまりました。

以降、実質的な交流プロジェクトによって、南京大学外国語学院から本学への留学生は、現在までに約160名、本学から南京大学海外教育学院への短期留学生は約150名となっています。

このような交流の実績を踏まえて、松尾泰理事長が、南京大学と北海道情報大学の人材育成と科学研究に多大な

貢献をしており、「双一流大学」（世界一流大学の意味）の構築と国際交流・協力を推進していることが認められ、南京大学学術委員会の審議を経て、南京大学の顧問教授に任命されました。

また、翌7月6日（金）には北海道情報大学において、南京大学側で本学との交流の礎を築いてこられた陳駿前学長に、北海道情報大学から名誉博士号の称号を授与し、陳駿前学長の人材育成と研究領域への貢献を高く賞賛しました。

35年前からの長い国際交流と深い友情で結ばれている両大学は、今回の授与式を通じて、さらに絆が深まりました。今後ますますの交流と発展が期待されます。

【アメリカから映画監督がやってきた！】（7月14日投稿記事）

ディズニー初の黒人アニメーターフロイド・ノーマン氏のドキュメンタリー映画の上映会を開催しました。



本イベントの開催に当たって、同作の脚本・監督を務めたマイケル・フィオーレ氏がアメリカからかけつけてくださり、上映会後には監督と学生が直に対話するトークセッションを実施しました。

学生達からの鋭い質問に、監督からは「質の高い質問ばかりで驚いた。（他にも同様のイベントに参加したことがあるが）今までで一番良いオーディエンスだった」とのお言葉も頂きました。

HIUの学生達は本日の貴重な体験を通して、大いに刺激を受けている様子

でした。

<上映>

「伝説のアニメーター：フロイド・ノーマン」

<トークショー>

マイケル・フィオーレ（監督）

ハービー・ビズリー（在札幌米国総領事館 領事）

主催：アメリカンフィルムショーケース

協力：在札幌米国総領事館 北海道情報大学

【情報大 節電大作戦】（9月11日投稿）

北海道情報大学も節電に積極的に協力します！停電を経験したわたしたちだからこそ北海道のためにできること。

個人や企業ばかりでなく、大学だって停電を避けるため節電します！

大学では、共用部の照明を控えめに、エレベーターやトイレの暖房使

用・エアータオルは極力使いません。使用していない教室・研究室・会議室等は小まめに消灯します。パソコン等の機器は長時間使用しない場合は電源を切り（3時間程度以内ならスリープモード）、モニターの輝度も下げます。また、待機電力が掛かる機器は出張など長期不在となる場合は極力コンセントを抜きます。そして夜はなるべく早く帰宅するように心掛けます。

北海道ではまだ地震・台風の余波が落ち着いていないところが多いです。電気が復旧したわたしたち北海道情報大学だからこそ、北海道のためにできることをしませんか。



【今年も東京ゲームショウに出展します】(9月20日投稿記事)

☆ブース、完成しました！

情報大の特徴は学生のゲーム作品を展示するのはもちろん、ブース装飾も



学生の手でデザイン・制作します。

今年はブース専任担当がいないうちで、なんとかブースの装飾が完成しました。LEDを仕込んだ看板は今までで最大です。

ゲーム開発の方も徹夜で頑張ってます。5作品あります。

明日20日からはじまる東京ゲーム

ショウのブースにぜひ、いらしてください。

期間 9/20～23(21・22は関係者のみ)

展示場所 幕張メッセ ホール2C12

【NoMaps2018への参加】(10月11日～14日の記事をアレンジ)

10月10(水)～14日(日)に札幌市内各地で、「NoMaps(地図のない世界)」という、先端テクノロジーやメディアアートなどをテーマにした様々な会議やイベント、展示会などが開催されました。本学としても、その中で開催されている札幌国際短編映画祭には情報メディア学科の島田准教授が運営委

員として参加し、札幌市の地下歩行空間の展示エリアでは、安田教授や斎藤一教授と学生たちが、AIやVR関係の体験コーナーを出展しました。

会期中には札幌市長の秋元克広氏も、本学の展示コーナーを訪れ、学生が作成したゲーム等を楽しそうに体験していかれました。秋元札幌市長も試したAI観光情報コンテンツ「AI×顔はめパネル ココイコ!北海道」は特に人気

で、会期中約400名の方々に試していただきました。これからも、AIやメディア表現での最新の研究成果を一般の方々にもお届けしたいと思います。ご来場、ありがとうございました。



【ピカッとプログラミングワークショップ、大盛況で終了】



江別の小学生を対象としたプログラミングワークショップを、11月25日に、開店間もない江別蔦屋書店で開催しました。10

人の募集のところ、12人の応募で締め切りましたが、あっという間に席が埋まりました。応募いただいた方々、ありがとうございました。

ワークショップでは、ミニロボットを使って、その制御をビジュアルプログラミングツールを用いて行いました。実際にロボットを迷路コースで走

らせました。みんな想像通り、すぐに使い方を覚え、IF文と繰り返しも少し理解したと思います。なんといっても、生き活きとパソコンに向かう姿は、教える側も楽しくなってきますね。プログラミングに興味を持つことが1番大切だと思います。(11月25日投稿)

【海外留学プログラム参加者による報告会】

12月13日(木)、本学のアメリカ、大連(中国)、南京(中国)、マレーシアへの各留学プログラム参加者による帰国報告会を開催しました。様々な視点から、留学先の国と日本との違いや、今後の抱負などを報告してくれました。皆が口々に話していたのは食べ物の違い。中国へ留学した学生の中には、現地で食べた本場の中華料理が美味すぎて、日本の中華料理はまずいのでもう食べないと宣言した学生もいまし

た(笑)

今回が初海外で、渡航前は漠然と不安を感じていた学生もいましたが、現地で数日過ごすうちに自然と解消し、楽しく過ごすことができたと言っていました。皆留学を通して様々な刺激を



受けたようで、「勉強のため英字の本を読み始めた」、「恥を捨て、困っている外国人には自分から積極的に声がけをするようになった」など、多くの学生が帰国後何らかの取り組みを始めています。

本学の海外留学プログラムは、全日程に必ず引率教職員が付くのが特徴で、初めての海外でも、比較的気軽に参加できます。今後も多くの学生が海外を経験し、多くの刺激を受け、大きく成長してくれることを、楽しみにしています！

北海道情報大学開学 30 周年記念「宇宙展」

8月10日(金)、11日(土・祝)に北海道情報大学開学30周年記念行事として、宇宙展を開催いたしました。この宇宙展は「北海道150年 子ども未来・夢キャンパス」事業に登録し、JAXA等の後援を得て、宇宙開発の意義、宇宙の楽しさをたくさんの方々へ知ってもらおうという目的で開催したものです。

小雨の降る中の開催となりましたが、幸いにも大きな天候の崩れはなく、2日間の来場者数は2,000人を超え、多くの地域住民の方々に参加していただくことができました。来場者の方々には、各日先着600名に実際にスペースシャトルでも食べられた「宇宙のパン」をプレゼントしました。2日目は開場1時間ほどで配布を終えるほど大人気で、特に小さなお子様や小学生に好評でした。

今回の宇宙展の目玉であった、北海道初となる「月の石・砂(3点)」の展示には、大人から子どもまで多くの方々を列を作り観覧していました。月の石・砂を目当てに来られた方もおり、スタッフの解説を熱心に聴かれました。その他には、ロケットの模型や宇宙食サンプルなどを展示し、体験展

示では「3D火星」、閲覧展示では「はやぶさ・はやぶさ2・はやぶさ帰還カプセル・イトカワの模型」が人気でした。イトカワの模型には小さなはやぶさの模型がついており、見つけた方はその芸の細かさに感嘆していました。

ロケット打ち上げ音響体験では、ロケット発射台3km地点からの映像と音響をリアルに体験し、その臨場感あふれる大音量に驚かされている方もいました。また、音響体験では、実際に宇宙開発の現場で働く本学園グループ(eDCグループ)の一つである宇宙技術開発(株)の社員による講演も行いました。講演では、クイズ等も取り入れられており、より宇宙やロケットについて身近に感じてもらえる内容となっております。

宇宙服で記念撮影コーナーでは、実際にブルースーツを着て記念撮影をし、それを缶バッジにしてプレゼントをしました。「とても記念になる」と喜んでいる方が多数いました。特に家族連れには大人気で、夏休みに帰省してきたお孫さんを連れ、嬉しそうに撮影している姿は印象的でした。

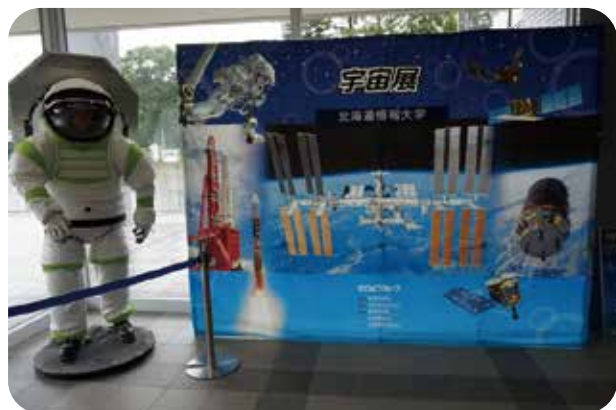
工作コーナーは、大人から子どもまで楽しめる会場とし、両日ともに大人

気でした。風船ロケットでは、作るだけでなく、それを飛ばして楽しめるようにし、子どもたちは的に当てようと、とても真剣でした。ペットボトルロケット製作コーナーは、渡部ゼミの学生を中心に、学生スタッフが協力し、来場者を楽しませていました。作ったペットボトルロケットは、実際に中庭で飛ばし、その迫力と飛距離に驚かされている方も多く、何度もロケットを飛ばしている子どもも多くいました。

その他、学科紹介コーナーとして、各学科の取り組みや学生が製作した作品を紹介し、北海道情報大学の教育内容を広く周知することができました。来場者の方からは「北海道情報大学と宇宙の関わりを感じることができた」とのお声もありました。

今回の宇宙展を無事終えることができ、また目的を達成することができたのは、eDCグループ、本学の教職員、学生スタッフ、そして何より宇宙展に来場された皆様のおかげです。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

(宇宙展スタッフ 佐藤真美子)



1F 受付会場 (宇宙服・パネル)



月の石・砂(3点) コーナー



宇宙服で記念撮影コーナー



ロケット打ち上げ音響体験



工作コーナー



工作コーナー（風船ロケット）



ペットボトルロケット製作コーナー



展示コーナー



展示コーナー



ペットボトルロケット発射実験



平成 30 年度 北海道情報大学大学院 学位論文等公開発表会を開催しました

平成 31 年 1 月 31 日 (木) 13 時から、
本学 213 教室において、平成 30 年度
北海道情報大学大学院学位論文等公開
発表会を開催しました。当日は、学位
論文等の事前審査に合格した 3 名が、
出席した教職員及び学生に対し、自身
の研究内容や成果について発表を行い
ました。

【発表者及び学位論文等題目】

- 程 家園「札幌のデジタルコンテンツ産業におけるビジネスエコシステムに関する研究」
楊 倩「日本の情報サービス IPO 企業の成長性 ―売上高と従業員を中心に―」
练 昱潏「越境 E C」産業育成策の中日比較 ～日本の特色ある育成事例を中国に活かす提案を中心に～」



「ゲーム開発者交流会」を開催しました。

本学ゲーム開発同好会と宮西研究室
の共同開催で「ゲーム開発者交流会」
というイベントを 2018 年 12 月 20 日
に開催しました。

ゲーム開発同好会は、ゲーム開発に
関心のある下級生 1、2 年生と、実際に
ゲーム開発活動を行っている上級生 3、
4 年生をつなぐ場を作るという方針の
もと活動をしており、その一環として、
今回のイベントが開催されました。

交流会という名でのイベントでした



が、実際の内容は「上級生のゲーム開
発活動についての紹介」や「下級生へ
のアドバイス」を行い、その後交流タ
イムを設けて、下級生が上級生に対し
て自由に相談や質問をする場を設ける
という内容でした。

当日、上級生として講演を行ったの
が宮西ゼミナールに所属する酒向航さ
ん (情報メディア学科 4 年)、後藤太輝
さん (情報メディア学科 4 年の)、本莊
理基さん (情報メディア学科 3 年) の
3 名で、それぞれがこれまでに作った
ゲーム作品の紹介や、使用した技術、
ゲーム開発する上で気をつけるべき点、
就職活動に向けてアドバイス等、様々
な内容の講演が行われました。

イベントに参加した下級生は 1、2 年



生合わせて 11 名で、それぞれが真剣な
面持ちで上級生のお話を聞いており、
交流タイムでは下級生からの「ゲーム
で使用する 3D モデルの制作では、ど
のソフトウェアを使うのが良いか？」
という相談や「ゲームエンジンは何を
使うのが良いか？」などの相談で盛り
上がりを見せていました。

保護者と教員との懇談会が行われました

平成 30 年度の保護者と教員との懇談会を、平成 30 年 10 月 20 日（土）に本学において 1 年生と 3 年生の保護者を対象に、全体会、学年毎の懇談会及び個別面談の 3 部構成で実施いたしました。

全体会では、澤井学長より「建学の理念」、「宇宙展」、「eDC グループ」、「教育・研究での 3 つの取り組み」、「きらりと光る地方の中小規模私立大学等の取組の例」、「グローバル人材育成プログラム」、「平成 29 年度就職率」について、説明がありました。

学年毎の懇談会では、1 年生では、明神前就職部長より学生の就職について、蔵本教養部長より教育目標についての説明があり、その後、各クラス担

任との個別面談が行われました。また、3 年生では、渡部研究科長より大学院について、明神前就職部長より学生の就職活動についての説明が行われた後、各ゼミ担当教員と個別面談が行われました。

この懇談会は、保護者のみなさまに本学の教育目標や本学が目指す人材育成、教育の実情、就職状況等を理解していただくとともに、学生の修学状況や学生生活の現状、卒業後の進路等について個別に懇談できる機会としております。

保護者のみなさまは、担当教員との懇談の他、教務課及び学生サポートセンター事務室で学業や学生生活の状況、卒業後の進路・就職活動等につい

て質問されておりました。

ご多忙中にもかかわらず、遠方からも多数の保護者の皆様にご出席いただいたことに感謝申し上げます。今後とも、本学の教育のさらなる推進に、保護者の皆様のご協力を賜りたいと思っております。

(学生サポートセンター事務室)



全体会 学長からの本学概要等の説明

秋の食生活改善運動(100円朝食)が実施されました

江別市に所在する 4 大学（本学、酪農学園大学、札幌学院大学、北翔大学）の共同企画「食生活改善運動 100 円朝食」が 10 月 24 日から 26 日まで行われました。

この運動も、今回で 22 回目（平成 20 年度から春・秋に実施）を迎えました。

朝食は、心身共に健康な学生生活を

送るための基礎になります。しかし、親元から離れて生活していると、だんだん健全な食生活から離れ、朝食をとらないことで生活リズムが乱れたり、不規則な食生活が原因で体調を崩してしまうケースも見受けられます。学生にきちんと朝食をとる習慣づけができればと 100 円でこの運動を実施いたします。

10/24 和食メニュー

- ・鯖の塩焼（大根おろし添え）
- ・切干大根 ・揚じゃが芋のそぼろあん
- ・厚焼き玉子 ・今川焼 ・ご飯 ・味噌汁
- ・牛乳 or オレンジジュース

10/25 洋食メニュー

- ・トンテキ（付合せ：千切りキャベツ、トマト、キュウリ）
- ・インゲン、ベーコン、コーンのバター醤油炒め
- ・マカロニサラダ ・プリン ・ご飯
- ・コンソメスープ ・牛乳 or オレンジジュース

10/26 中華メニュー

- ・塩唐揚（付合せ：千切りキャベツ、トマト、キュウリ） ・肉団子の酢豚風
- ・コロコロ豆腐のザーサイのせ ・杏仁プリン
- ・ご飯 ・中華スープ
- ・牛乳 or オレンジジュース





柿並 義宏 准教授

情報メディア学部

情報メディア学科

313 教室

担当科目

- ・メディア技術演習
- ・初修情報メディア学II
- ・プログラミング演習I
- ・メディアプログラミング演習

9月に情報メディア学部へ赴任した柿並義宏です。よろしくお願ひします。前職は苫小牧工業高等専門学校で物理を教えていました。大学院修士課程を終了後、システムエンジニアとして数年一般企業で働いた後、大学院博士課程に入学し、学位をとりました。その後はいろいろな大学で職を得ながら移動してきました。台湾の大学で4年ほど働いていた経験もあります。そのせいで、大学入学してから通算で16回ほど引越しをしてきた引越しマスター(?)です。



大学ではオリエンテーリング(地図と方位磁石を使って、決められた地点をいかに早く通過してゴールするか競うスポーツ。基本的に山の中で行う。車のラリーをイメージしてもらうとよいかも)にはまり、日本各地での大会

に参加したり、海外の大会に参加したり、他大学の合宿へ参加して、道場破りしたり、とかなりの時間とお金を投入しました。そのかいあって、インカレ優勝、ユニバーシアード日本代表、ワールドカップ日本代表などを勝ち取ることができました。頑張りすぎて膝を壊し、今では朝起きて階段を降りるときには膝が痛みますので、競技からはすっかりご無沙汰になっています。

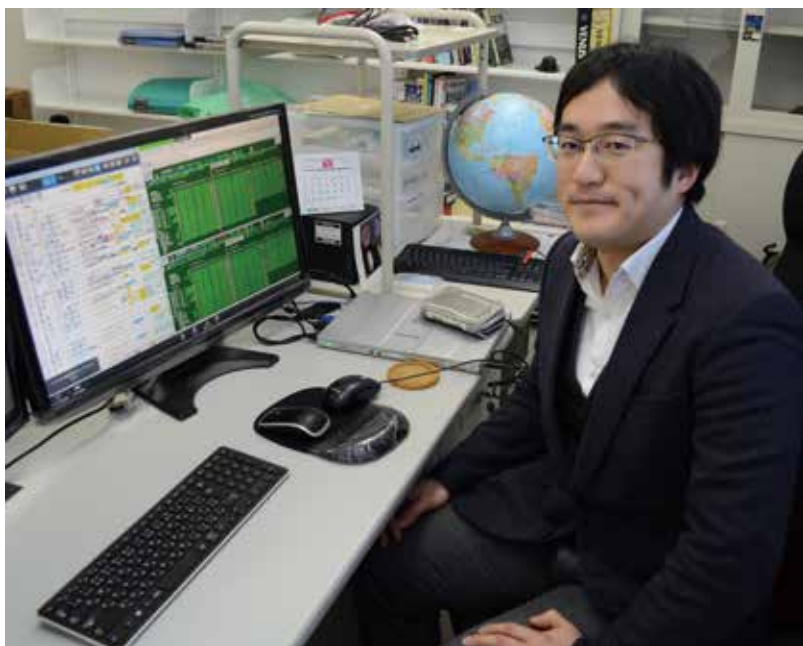
宇宙に興味がありましたので、大学時代は金星超高層大気(高度100km以上の宇宙空間との境目)の研究をしていました。卒業してからはいろいろな衛星のデータを用いて、地球超高層大気の研究をしてきました。地震後に地面が揺れることで大気が揺すられ、その波(超低周波音波、人の聞こえない低い音)が超高層大気まで届いて、その場にあるプラズマを揺する、という現象に出会ってから、地震に関連した超高層大気現象に興味をもっています。この超低周波音波を使って津波位置・規模情報を検出し、その情報をスマホなどに送り、避難の手助けにする

ことはできないかなと考えています。この流れで、他の超低周波音波にも興味を持ち始め、南極で実施している超低周波音波の観測に関わっています。

2013年には第55次南極観測隊員として南極に行ってきました。実は来年度もいかないかと誘われたのですが、別の実験があるのでお断りしました。その実験とはロケットからガスを放出して、超高層大気の流れを測るという実験です。興味があれば一緒にノルウェーに行ってみましょう!象も超低周波音波で話しているので、象がしゃべっている言葉を検出し、スマホで表示出来たら面白いなあと思っています。

こんな何でもありの話を知りたい人がいましたらぜひ313教室まで遊びに来てください。





佐藤 隆雄 講師

経営情報学部 システム情報学科
215 教室

担当科目

- ・コンピューターシステムⅠ
- ・プログラミング入門
- ・プログラミング基礎・宇宙への挑戦
- ・宇宙工学基礎・情報専門演習
- ・ゼミナールⅠ・ゼミナールⅡ
- ・インターンシップ・総合演習

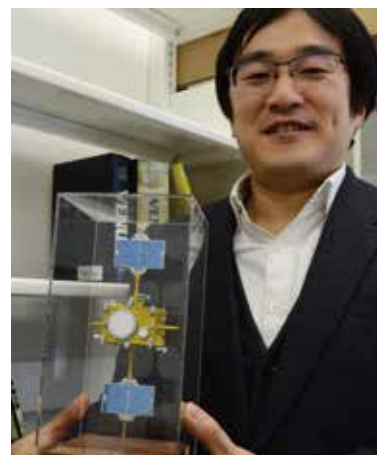
初めまして。9月から本学の講師を拝命いたしました佐藤隆雄と申します。千葉生まれ横浜育ちです。幼少期より漠然と宇宙に関心があり理数系科目も好きだったことから、宇宙を専門に学ぶことのできる東北大学にて大学・大学院生活を送りました。これが人生初めての「北上」でした。徐々に興味も明確になり、「人工衛星によって直接探査できる程度に近い宇宙（太陽系惑星）を自分で作った観測装置でデータを取得して研究する」というスタイルに憧れて研究室を選ぶことになりました。ちなみに私が所属していた研究室にはその昔、渡部先生や柿並先生も在籍されていまして浅からぬご縁を感じております。大学院時代は、残念ながら上記の全てを満たす機会には巡り合いませんでしたが、「なぜ木星の縞模様は色が違うのか？」という誰しも一度は疑問に思うかもしれないことについて、兵庫県立西はりま天文台の「なゆた」望遠鏡やNASAの探査機「カッシーニ」の画像データを用いて研究し修士・博士の学位を取得しまし

た。大学院卒業後は、情報通信研究機構を経て JAXA 宇宙科学研究所に所属し、2013 年度より金星探査機「あかつき」に関わることになりました。「あかつき」は 2010 年に打ち上げられ、その年のうちに金星に到着し観測を開始する予定でしたがエンジントラブルにより軌道投入に失敗し、私に関わるようになった頃は 2015 年の軌道投入機会まで衛星を維持するというプロジェクトの歴史の中で最もつらい時期でした。その後、チームの弛まぬ努力と幸運により軌道投入に成功し、日本で初めてとなる地球以外の惑星周回衛星の誕生に立ち会うことができました。また観測計画の立案や衛星に送るコマンドの作成、衛星の運用等、JAXA にいてもなかなか体験できない貴重な経験を積みました（上記の一部は大学異動後も行っています）。

このたびご縁があり人生2度目の「再北上」を果たし、本学にて宇宙情報システムコースを担当させていただくことになりました。近年では財政難から国レベルで衛星プロジェクトを打ち出

すのが困難になる一方で、大学や民間レベルでは宇宙進出の動きが加速する等、宇宙は以前よりも我々に身近なものになってきていると思います。宇宙を通して学生さんの知的好奇心を育てつつ主体的に考える力を身につけてもらえるよう鋭意努力したいと思っております。

最後に・・・覚悟はしていたはずですが、通勤時の雪かきなど毎日雪が降る生活に慣れておらず色々驚くこともあります。楽しみながら北海道生活も満喫したいと思っております。まだまだ若輩者ですが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。





▲ゼミ・サークル展示の様子。

SO-TEN FESTIVAL

第30回 蒼天祭を終えて

10月6日(土)、7日(日)に、本学にて蒼天祭の開催を予定しておりましたが、今年度は台風25号の影響もあり、10月6日(土)のみの開催となりました。

このため、2日目に予定していた蒼天大花火やYOSAKOI演舞は誠に残念ながら中止となってしまい、ご支援・ご協力いただいた同窓会・教職員の皆様、YOSAKOI演舞参加予定団体の皆様には、大変申し訳なく思っております。この場をお借りしましてお詫び申し上げます。委員会としても、2日目に予定していたBINGO大会を1日目に折り込むなど工夫を凝らし、1日目を充実させるため奔走いたしました。終

盤には雨が降り始めるなど、天候に左右されながらの開催となりました。そんな状況下でも結果として900人以上のお客様にお越し頂くことが出来ました。深く感謝いたします。

毎年恒例のSO-TEN LIVEでは、伊東歌詞太郎さんにお越し頂き、ライブパフォーマンスを行っていただきました。今回のSO-TEN LIVEを見るため、各地から500人以上のお客様がお見えになりました。入場が終了する頃には整列されていたお客様は無事全員入場することができ、蒼天祭の大きな目玉として大変盛り上がりおりました。

また今年度は、例年行っていた松尾記念館講堂から体育館に会場を変更

し、スタンディングでのライブを実施致しました。入場開始前の混雑など、例年と場所を変えたことによる反省点や課題も多く見られましたが、LIVE終了後にはお越し頂いたお客様からたくさん笑顔が見え、委員会として満足いく結果となりました。伊東歌詞太郎さん、ご協力いただいたスタッフの皆様のお力もあり、お客様に心から楽しんでいただけるSO-TEN LIVEにすることができたのではないかと考えております。他にも、例年と同じく学生による模擬店の出店やゼミ・サークルによる展示なども設けておりました。



▲ 学内で行われたeスポーツ大会。



▲ 屋外にも多くの出展団体が。



▲ 大学の松尾記念館も毎年装飾されます。

SO-TEN LIVE での動員も重なり、完売した店舗や大盛況の展示スペースが多く見られました。ポップコーンを食べながら学生による映像作品を観覧できるスペースを設けた団体や、中にはゼミ・サークルの枠をこえ、教員や学生による e スポーツ大会を開催した団体もありました。急遽日程を変更して 1 日目に行った BINGO 大会にも多くのお客様にご参加頂き、委員会で用意していた景品の数々を、お客様にお渡すことができました。

当初予定していたよりも日程は短くなってしまいましたが、第 30 回という節目にふさわしく、たくさんの目玉で蒼天祭を盛り上げる事が出来まし

た。今年度は地震や台風の影響を大きく受けた年となり、委員会としても様々な課題を受け、多くの経験をする事が出来ました。これを次年度以降に活かし、蒼天祭の更なるレベルアップに繋げていきたいと思っております。

最後に、無事終了できたのは同窓会や教職員の皆様、模擬店・展示を運営して下さった学生の皆様、OB・OG、在学生、そして何よりも蒼天祭にお越しくださった来場者の皆様のお陰です。この場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

学生実行委員会
委員長 金子 麻衣

第9回 留学生の日本語弁論大会

医療情報学科 田中里実

昨年の7月21日(土)に外国人留学生委員会の主催で「第9回 留学生の日本語弁論大会」が開催され、本学の118教室で9名の留学生がそれぞれ熱弁を振るった。この弁論大会の目的は、本学留学生の日本語能力を向上させること、留学生に日本語と日本文化に対する関心を深めてもらうこと、そして、本学の教職員や留学生以外の学生に、留学生の日本語能力や活動状況に対して広く理解していただくことである。

昨年度は留学生在籍数の減少により、来日して間もない一年生の部と、二年生以上の部の二部制であったが、今年度は本学に入学・編入後1年以上という資格を満たす留学生が増えたため、一昨年以前と同じ正式弁論大会を主に行うことができた。

司会進行係は国際交流・留学生支援事務室の森一峰室長が担当し、開式の挨拶は外国人留学生委員長である玉置重俊先生が行った。そのあとに4名の審査委員(審査委員長の飯嶋美知子先生、審査委員の伊藤一正先生、玉置重俊先生、そして筆者)が紹介され、弁論大会の幕が開けた。

弁論で評価されるのは、1)日本語の発音および流暢さ、2)日本語の語彙・文法などの正確さ、3)弁論の構成と論旨の適切さ、4)発表する時の態度や表情、かつ声の大きさも適切なこと、5)質疑応答におけるできばえ、の5点である。例年、弁論後の質疑応答の際の質問は審査員のうちの2名が担当していたが、今年度より4名全員が適宜質問するという形式になった。外国語を大勢の前で話す緊張感から

か、手に持った原稿に頼りながらの発表を残念に思いながら聞く年も多いが、今年が一番目の発表者から原稿をほとんど見ない発表を聞くことができ、全体のレベルアップへの期待が高まった。9人の発表者が終わってみると、落ち着いていて表情豊かに弁論を行った学生がいた一方で、原稿に頼り切った発表をする学生もあり、実力が二分された形となった。評価されたのは、やはり主張のある弁論で、さらに質疑応答でも差がついた。質問に的確に答えた上でプラスアルファの内容を答えられる流暢さを備えた弁論が上位に入賞する結果となった。以上は、審査員による審議の結果であり、弁論終了後に飯嶋審査委員長より講評として参加者に伝えられた。

講評の後は、審査結果の発表である。最優秀賞には「留学生として不可欠なことは何でしょうか」を発表した張深くくんが選ばれた。優秀賞には「初心を忘れずに」の程碩くん、努力賞には「私は小さな石です」の段文媚さん、「瞬間的な美」の王猛くんが選ばれた。

審査結果の発表まで会場で留学生の

ことを見守ってくださった澤井秀学長からもお言葉をいただいた。語学の習得では「読む・書く」練習は一人でもできるのに対して、「聞く・話す」練習には相手が必要であることから、日本人の友達を作ることが大切であること、また、弁論大会においては発表するという経験ができ、毎年参加によって1年の学習成果をはかることもできる、と今年の参加者をねぎらい、今後も毎年積極的に参加するようという激励もいただいた。閉式の辞では、中学校・高校の英語教員による弁論大会への出場経験のある伊藤先生より、準備の大切さとそこで得られる自信についてのお話を聞くことができた。

弁論大会の表彰式は7月26日(木)の昼休みに行われ、それぞれの入賞者は澤井学長より、立派な賞状と価値ある副賞を授与され、満面の笑みを浮かべていた。今後も本学の留学生たちには積極的に日本語や日本文化の習得に励んでもらい、さらに充実した留学生活を続けて欲しいものである。



北海道ドローン選手権に参加して

私は、平成30年9月18日～20日に、旭川で開催された第2回北海道ドローン選手権に出場しました。この選手権は、酪農産業におけるICT化を目指したドローン技術の開発を意図したものです。第1回目の大会では、屋内で牛に見立てたサッカーボールをドローンにより撮影した画像から認識させるという課題でしたが、第2回目の大会では課題の難易度が上がりました。今回の大会では、屋外の芝生に仮想的なミニ牧場を設定し、自動飛行させたドローンにより空撮することで、ミニ牧場内に存在するバルーンによる模擬牛をソフトウェアにより検出、カウントするというものでした。

大会に出場した経緯は、長尾先生や昨年のゼミの先輩からの後押しがあり、さらに、大会主催者である古川教

の屋外に実際の選手権会場を想定したエリアを作成し、ドローンを飛行させ、自動飛行方法やDeep Learningに利用する学習データの収集も行いました。



大会当日までに出来る限り検出・カウントの精度を上げるよう最善を尽くしました。

選手権当日、緊張と不安の中、入念に準備を重ね、本番に挑みました。いざ、ドローンを飛行させる順番を決めるくじを引くと、トップバッターで挑むことになり、身が引き締まる思いでした。結果は、ドローンの自動飛行方法や誤認識による減点



授から大会の案内を頂いたため、出場を決めました。

しかし、大会出場を決めてから開催日まで2か月少々という短期での開発になりました。ソフトウェアの開発にあたり、指導教員の長尾教授からは「『Deep-learning』を利用して模擬牛をカウントするソフトウェアを作成をしたらどうか」という助言がありました。それをもとに毎日、大学の研究室に来て、試行錯誤しながらソフトウェアの開発をしました。また、情報大学

があり、残念ながら上位入賞はできませんでした。悔いが残らないといえは嘘になりますが、この短期間で仕上げ、無事失敗することなくやりきることができたことには満足しています。

選手権終了後、



懇親会に出席し、北海道大学の大学院生や教授、北見工業大学の学生とお話ができる機会があり、選手権に出た経緯や他大学の様子を伺うことができました。大変貴重な経験をさせていただきました。

今回開発したソフトウェアは、卒業研究の内容にもなっているため、改良を行い、更に精度の高いDeep Learningを取り入れた検出ソフトウェアを開発する予定です。

末筆ながら、今回の開発にあたり協力していただいた長尾教授、古川教授、協力して下さった本学の学生、大会関係者各位に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

システム情報学科4年 渋谷弘貴



ゼミ紹介

藤本 直樹 ゼミ

経営情報学部 先端経営学科



藤本ゼミの活動テーマは「社会貢献プロジェクト」の企画・遂行です。わかりやすく言うと、まちづくりの支援で、地域の活性化に結びつく方策を考えて提案し、案件によっては、実施するまでの一貫した取り組みを行っています。これまでも、地域の市役所や

中小企業家同友会、商店街、青年会議所などとの協働プロジェクトを実施しています。活動のフィールドは、地元江別市だけに留まりません。北海道石狩振興局から依頼されて、管内の少子化を改善するための方策を検討したり、美唄市の「ふるさとテレワーク事

業」を支援するため市民やテレワーカーを対象とした PC スキルアップ研修を実施するなど、学外で「行動するゼミ」です。

現在も複数のプロジェクトが進行中です。江別青年会議所に協力して、冬の屋外イベントであるスノーフェスティバルの企画運営を実施しています。また、2年に一度開催されるえべつ未来づくり学生コンペに参加するため、3年生が2チームに分かれて「野幌駅周辺の活性化策」と「市内の空き家対策」を検討しています。企画の掘り起こしや計画・実施・振り返りのサイクルを通じて、現代社会で求められる実践力やコミュニケーション能力の涵養に努めています。

加藤 伸彦 ゼミ

医療情報学部 医療情報学科



加藤伸彦ゼミは、本年4月新たに開講された新しいゼミで診療情報管理専攻の3年生2名が所属し、元気に学んでいます。

ゼミの方針として、ゼミのスケジュールや内容は特に決めずゼミ生がやりたいこと勉強してみたいことを提

案しそれに沿って進めていくことを基本としています。現在は研究室での座学が中心ですが今後は、卒業研究の準備だけではなく就職活動や卒業後にも生かせるような勉強やフィールドワークを含めた活動を行っていく予定です。

まずは、「自分の長所、短所を理解し何に興味があるのかを知る」、「調べるための方法を習得する」、「自分の考えや思いを理解してもらえるような表現力を身につける」ことを目標としています。

ゼミ活動の2年間を通して、「周りの人とのコミュニケーションを図り、共同して様々な問題解決ができるようになること」を最終目標に、人の考えやつながりの大切さを理解し、行動で

きるようになって社会へはばたいしてほしいと思っています。

来年度からは臨床工学専攻の学生が参加する予定ですので、学内の他ゼミや他学のゼミとの交流や活動範囲も広がると思います。大学生生活の締めくくりとして「勉強も遊びも全力投球」の加藤ゼミが卒業までバッチリサポートしますので興味のある方は是非131研究室に遊びに来てください。



豊田 規人 ゼミ

経営情報学部 システム情報学科

豊田ゼミでは、ここ 2 年ほど深層学習にターゲットを当てゼミ生と一緒に勉強しています。深層学習には様々なライブラリがあり、余り内容を理解していなくてもそれを実行することで何らかの成果は得られます。当ゼミでは私の性格を反映し、数式も一つずつ丁寧に理解し、計算して確かめ理解してからライブラリを使うことにしています。こういったことができるのがゼミナールの長所だと思います。内容は線形代数や微積分の知識をふんだんに使います。多くの学生はそういった知識がなくなると忘れてしまいます。然し、そういった状況にもめげず、亀のようにゆっくり、一つずつ納得しながら進んでいきます。絶え間ぬ努力は、最終的には兎も追いつくはずで、最初から学生に

は無理だろうといった姿勢は取りません。論理的・数学的内容は、万人が必ず理解可能であると信じています。「鳴かぬなら、鳴かせてみようホトトギス」これが教育信念の一つでもあります。



尚、今年から、全員ゼミ配属ということで異常に取得単位数の少ない学生、或いは精神的問題を抱えている学生もいます。そこで私のゼミの目標は今年から大きく変更し、以下の 4 点に絞り

ました。(1) 問題発掘能力をつける (2) 批判的思考力を付ける (3) 論理的な議論・発表を行える (4) 論理的文章が書ける。論理的・数学的に確固とした内容は、答えは曖昧ではなく、結論は唯一に決まります。従って、正しく論理を展開した人が必ず勝利します。口うまく説明した人、声の大きな人が優位になることはありません。答えの明白な内容での議論は、初心者の議論の上達にうってつけの学習内容と思われます。又、学力に余裕のある学生は研究をしますが、そうでない学生は上記の汎用基礎能力を付けることが主体となります。つまり、研究重視⇒基礎的能力重視への変更となります。こういった結果が出るか分かりませんが、暫くこの実験を続けようと思っています。

齋藤 健司 ゼミ

情報メディア学部 情報メディア学科

本ゼミでは人工知能技術を様々な分野で応用することを目標として、教育システム(e-ラーニング)や仮想環境を使ったシミュレーション、コンピューターグラフィック、ゲームなど幅広いテーマの研究を行っています。近年は人工知能という言葉が世間でも良く話題に出るようになり、ディープラーニング(深層学習)などの技術が注目されていますが、人工知

能は長い歴史があり他にも色々な技術があるのでゼミ生にあわせて色々な研究をしています。主に 3 年の時には色々スキルを獲得してもらうための演習が中心で、4年になってから研究テーマを定めて、それぞれの研究に取り組んでもらっています。この活動に加えて本学のプログラミングコンテストの参加、蒼天祭での展示などに取り組んできました。今後もメ

ディアデザイン展などゼミの外へ向けての活動にも積極的に参加していきたいと考えています。

本ゼミは以前はシステム情報学科所属でしたが、メディアに移ってきて 2 年目となります。学科が違くと学んできた科目も異なり、研究してみたいことも変わってくるので、これに合った研究を追求していきたいと思っています。



2018年「日中文化交流サロン」に参加して

外国人留学生委員会
経営情報学部教授 玉置重俊

昨年の11月17日(土)午後1時半から、野幌公会堂において、「江別日中友好の会」が主催する「日中文化交流サロン」が開かれた。この「交流サロン」には、



本学の中国人留学生たちも正式な招待を受けたので、当日は9名の留学生が参加して、江別市民の皆様と大変有意義で、楽しい相互交流をすることができた。したがって、当日における具体的な活動状況を学内の皆様に、いささか紹介してみたい。

さて、今回の状況だが、交流会の司会は、中国語の勉強が大好きで、もちろん中国語能力も十分にお持ちの松本景子理事がご担当くださり、開式の辞では、愛情のある分かりやすい中国語を話されて、参加者全員を温かく迎えられた。続いて、「江別日中友好の会」の望月芳明会長がご挨拶をなされ、筆者も来賓の挨拶をさせられて、いよいよ待望の交流会は始まった。

会場には、お菓子や飲み物などが並んだテーブルが六卓ほど配置されており、各テーブルには、3・4人の留学生と江別市民の方々が混じって八名程度に分かれて座った。そこでは、早速日本語と中国語での親睦交流が始まっていた。最初は、本学から参加した九名の留学生たちが、全員舞台の前に整列して、当日の日本人の皆様に対して、日本語を使って、簡単な自己紹介が行われた。その後は、参加

者全員が日本語、あるいは中国語などを使用して、それぞれの個性的な自己紹介がなされたため、会場全体は、一段と和やかになり、また親近感も増して、国際性のある楽しい雰囲気が漂い始めていた。

出し物の最初は、池坊札幌支部の本堂由貴子先生が日本伝統の生け花について、簡単な紹介と実演をしてくださり、さらには、本学の留学生にも実際に、お花を生ける機会も創って頂きました。意外にも、留学生たち

はまったく尻込みすることなく、積極的に喜んで参加

していた。彼らは大

いに自己流の生け

花の創作に励み

つつ、もちろん試

行錯誤を繰り返しな

がらも、とても楽しん

でいたように感じられた。当日は、

特別に「池坊の生け花」に関する中国語

の解説書までも配付されたことには、筆者もとても敬服させられた。

その後には、齋藤賢様が率いる大麻千鳥会の皆様による民謡もたくさん聴かせて頂き、また太鼓たたきの余興では、何人かの留学生たちも、特別に参加させていただきました。彼らは、突然の指名に驚きながらも、何とか見よう見まねで、即興の太鼓たたきをこなしたようでした。大麻千鳥会の皆様は、ご高齢の方々がかなりを占めましたが、それでもお揃いの青い法被を見事に着こなし、それぞれの役割

もはっきり果たされて、「ソーラン節」「北海盆唄」「花笠音頭」などの日本の民謡の唄と踊りなどを存分にかつ丁寧に、披露してくださいました。ここまで来ると、留学生たちも日本文化の中に、自然とけ込み融合した気分と情緒を相当に満喫できたのではないだろうか。

民謡の演舞の後には、中国語講座に参加する江別市民の皆様が「浦島太郎」の紙芝居を披露してくださいました。出し物の最後では、本学の四名の留学生たちが中国の唄を何曲か披露して、江別の市民の皆様楽しんで頂きました。交流会の結びでは、留学生たちが幹事となって、ビンゴゲームを実施し、それぞれ真心籠もった景品をたくさん頂戴して、誠に和気藹々とした異文化交流会は、きわめて成功裏に、めでたく終了となりました。



とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

とにかく、この交流サロンでの貴重な出会いと親睦を通して、本学の留学生が得たものは、すこぶる大きかったと思われる。本当に、毎年の運営にご尽力頂きます「江別日中友好の会」の役員の皆様には、心からの御礼と感謝を申し上げます。これからも、本学の留学生たちを温かくご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



2018年度 卒業研究発表会



1月29日(火)から約2週間にわたり情報メディア学科の卒業研究発表会が開催されました。情報メディア学科では、研究の特徴なども鑑み、ゼミの合同発表、単独発表などさまざまなスタイルで発表会を開催しています。

合同発表が開催されました。それぞれの部門ごとに研究の特徴を生かした異なるスタイルでの発表が行われました。

緊張の中、全力で発表を行い、その後の厳しい質問にも真剣に応答する

1月31日(木)、2月1日(金)には、オーラル部門、映像部門、インタラクティブ部門、ゲーム部門の4部門に分かれた

る姿は、情報メディア学科での学びの集大成としてふさわしいものでした。各部門の優秀研究は、下記のとおりです。



各部門で受賞した研究

インタラクティブセッション

【最優秀】

- 1522028 鳴海 葵 1522036 高橋 知久 (共同研究) 特定建設業株式会社石川組 リニューアルサイト制作 - リクルートサイトの企画・設計とデザイン - / 鳴海 同サイトのCMS「Wordpress」を用いたサイト構築 / 高橋
- 1523149 中村 翔太 表現の幅を広げたい学生を支援する Web サイト用パーティクルの推薦サイト「Particle Generator」の開発

【優秀】

- 1523094 大西 恭平 形状回帰モデルに基づく顔部品検出手法における学習サンプル拡充の一考察

【奨励賞】

- 1522038 中村 俊貴 VR フライトシューティング「桜桃」- 体の傾きを利用した協力型 VR ゲームの制作 -
- 1523090 阿部 範之 ボタン・メニュー配置に特化したデザインからコードを出力する Web アプリ制作
- 1523156 市川 憂祐 Instagram の投稿分析を用いた札幌観光支援サイト「MiLiCA」の制作

ゲームセッション

【優秀賞】

- 1523065 松江 敦哉 Photon を利用したオンラインで遊べるゲームの開発
- 1523171 中村 勇貴 学習要素を取り入れたアナログゲームの制作

【奨励賞】

- 1423029 迫田 優矢 ランダムは面白いのか - 超探索型ダンジョン RPG『DARK DUNGEON』の制作 -
- 1523131 山崎 美月 発想力を育てるアナログゲームの制作

オーラルセッション

【最優秀賞】

該当無し

【優秀賞】

- 1523068 青山 京太郎 機械学習を用いた客観的な声質分析に関する一考察
 - 1523075 小山 佑太 直観的操作によるフラクタル図形の作成 - IFS を用いたプログラム開発 -
 - 1523095 工藤 圭祐 ウンライト環境下における DNN を用いた画像補正
- 【奨励賞】
- 1523017 成田 海 モーションキャプチャを用いたバスケットボール選手のシュートフォームの比較・分析
 - 1523027 落田 和樹 偽サイトの URL かどうかの判断を支援するためのアクセスブロックツールの開発
 - 1523040 畑井 勇人 外乱にロバストな任意色抽出手法の提案
 - 1523089 横川 令一 ディープラーニングによる汎用型ボードゲーム AI の作成 - 強化学習による複数ゲームの実行 -
 - 1523091 生駒 僚也 複数のマルウェアについて学ぶことが出来るセキュリティボードゲーム教材の制作
 - 1523114 稲田 香奈 卒業要件充足状況を確認するための単位計算支援アプリの実現に向けて

映像セッション

最優秀賞

- 1522059 渡邊 健太郎 SFX と VFX を用いた怪獣映画「町が消えた日」の制作 30分

優秀賞

- 1522024 川浪 大地 映像作品「ELITE MIATA」の制作 2分30秒

奨励賞

- 1522004 加賀 谷司 トランジションによる映像効果 3分
- 1522044 菅野 拓朗 ロトスコープによる日常的動作のアニメーション 1分30秒
- 1522056 平野 稜大 ミュージックビデオ「Initialize」の制作 - バンドを際立たせるための映像演出技法について - 5分16秒
- 1523133 横山 立 ミュージックビデオ「ゲルニカ」の制作 3分42秒



札幌国際短編映画祭 7年連続入選!!

島田ゼミ 10期生制作 短編映画

自死幫助課

情報メディア学科島田ゼミナールの3年生(現4年生)が中心となり制作してきた島田ゼミナール10期生後期課題制作の短編映画「自死幫助課」が第13回札幌国際短編映画祭の北海道セレクション部門に入選しました。この作品は2017年10月から2018年3月の期間に制作したものです。テーマは「自殺幫助」で、自らの意思で自由に死を選ぶことができる世界で、自死幫助課に所属する主人公西川の葛藤を描いた作品です。

監督の飯塚悠市郎よりコメント
「今回制作した作品は自死幫助をテーマにした作品です。人の死を扱った作品なので重い内容になってしまいましたが、少しでも見ていただいた人の記憶に残る作品になってほしいと思い企画・制作をしました。そして目標であった札幌国際短編映画祭に入選する事が出来ました。協力していただいた同期と先輩方、並びに本学および外部の協力者の皆様のおかげです。改めて皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。」

出演：吉本琢哉、山崎大昇、大橋由紀子、佐々木駿、西岡良介

プロデューサー：小林知弘
渡邊健太郎

監督・脚本：飯塚悠市郎
助監督：横山立、加藤隆也

撮影：川浪大地

照明：小林知弘

録音：平野稜大、矢ヶ崎峻祐、加藤隆也

美術：長瀬丈一郎

編集：渡邊健太郎

制作：矢ヶ崎峻祐

役者部：蒲生麻由

アドバイザー：島田英二

＊企画開発

島田ゼミ 10 期生全員で短編映画を制作するのは第 5 回小樽ショートフィルムコミッションに続き、今回が 2 回目となりました。企画開発にあたっては、初めに、過去の札幌国際短編映画祭の受賞・入選作品を研究し、皆でどのような傾向の作品が多いかを話し合い、それぞれあらすじを考えてストーリーの方向性や脚本の制作を行いました。

＊撮影準備

撮影にあたって撮影場所の決定、役者の出演交渉・オーディションを行いました。撮影場所は監督のイメージに合う場所がなかなか見つからず、時間がかかってしまいました。撮影は北海道情報大学、医療情報センター、鳥せい、蒲生宅にお願ひし、撮影協力をいただくことができました。役者の皆さんはキャスティング事務所の Egg、スマイルリンクの方々にお願ひしました。

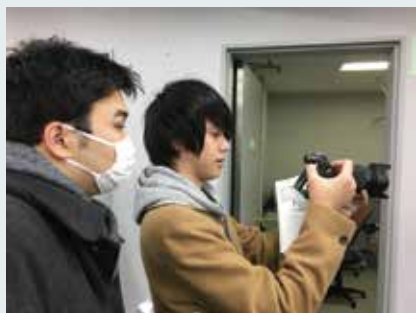
＊撮影・編集

本作品の撮影は 2018 年 1 月 20 日・21 日・27 日の 3 日間で行いました。撮影の 1 日目と 2 日目は若干の遅れもありましたが、先輩方のアドバイスをあり無事に終わりました。3 日目の撮影はゼミ生の約半数がインフルエンザにかかり、非常に少ない人数での撮影となりました。幸いにも監督、カメラマン、役者さんはインフルエンザにかからなかったもので、なんとか撮影を終えることができました。役者の皆さんはとても素晴らしい演技で、リメイクもほとんどありませんでした。皆様の協力のおかげで撮影を終えることができました。その後は編集作業へと入り、MA、映画祭へ出すために最終工程を行いました。他にも、例年行われているシアターキノでの作品上映のため、館主の方との企画交渉、フライヤーやチケットの制作、宣伝活動など全員で成功させるために活動し、無事作品の上映会を開催することができました。

＊終わりに

今回制作を行った「自死幫助課」は第 13 回札幌国際短編映画祭の北海道セレクションにて入選を果たすことができました。先輩方が過去 6 年連続で入選しており、企画段階から入選を目標とし制作を行ってきたため、無事目標を達成することができ大変うれしく思います。第 5 回小樽ショートフィルムコミッションでは審査員特別賞を受賞し、映画祭以外にも江別市 CM と新篠津村 PR 動画制作のプロジェクトがあり、普通の大学生活では出来ないような様々な経験をさせていただきました。これらの経験が 10 期生全員を成長させ、今回の入選という結果に繋がりました。

末筆ながら、今回短編映画の制作にあたり協力していただいた役者の方々、情報大学の教職員の方々、先輩・後輩の方々、そしてスタッフのすべての方々へ感謝いたします。



江別市学生ボランティア報告

江別市では今年度も5月から、学生ボランティアによる学習サポート事業に取り組んできました。今年度は、7月9日（月）の2校目に、北海道情報大学からは、3年生の長谷川翔哉さんが江別第二中学校において活動されました。

江別市教育委員会学校教育支援室学校教育課学校支援地域本部コーディネーターの白川さんからは、「担当者として学校訪問をさせていただきましたが、教頭や担当教諭からは非常に前向きに活動し子どもたちとの接し方がとても良かったことや、先生方にも刺激になっていたことなど、その姿勢や取組が評価されていました。来年度も、ぜひ情報大学からボランティアとして参加してくださる学生の方を期待しております。」とのコメントをいただきました。



1年生の数学、習熟度別少人数指導で理解に時間のかかる生徒の支援場面。解答した式の間違っていている所を指さして生徒に考えさせながら解答させていた。



練習問題では、式の途中のどこからまちがってしまったのかを、ていねいに確認させ、自分で気が付いて解決させるような支援していた。



つまづきがどこなのか声をかけて確かめ、板書を参考に生徒の力や理解の速さに合わせて分かりやすく説明するなどの個別支援をしていた。



となりの生徒の問題と解答を見比べながら、方程式のどの法則を使うのか、思い出させるなど、一つ一つの場面を大切に支援していた。

HIU ポスターデザインコンテスト 2018 表彰式

第7回 HIU ポスターデザインコンテストは、11月に締め切られ、合計9点の応募作品から、厳正な審査の結果下記の作品が選出されました。

1月28日 12:20より学生プラザに於いて行われました。表彰状と副賞を澤井学長から手渡されました。

今回は応募作品が少なく、今後の募集方法を再考する必要があるようですが、作品のレベルは高く、選考の結果、全作品がそれぞれ受賞する事となりました。



HIU 部門
最優秀賞 草嶋真穂

HIU 部門
奨励賞 早坂雪乃

江別部門
最優秀賞 金和輝

江別部門
奨励賞 永井啓暉



HIU 部門
最優秀賞 1522046 草嶋真穂
奨励賞 1721155 早坂雪乃
その他賞 1721035 田村大海
1721141 阿部美里
1721144 Shooting

江別部門
最優秀賞 1622501 金和輝
奨励賞 1622036 永井啓暉

陸上競技部

北海道情報大学陸上競技部です。今年度12月頃から情報大ランナースより陸上競技部に名前を変更し始動した新しい部活動です。陸上競技部は週1回、活動をしておりまして、主に木曜日の16:30頃に練習を行っております。練習時間に関しましては、来年度の学生の履修状況に応じて変更していこうと思っています。部員は3年生1名、2年生3名、1年生1名（男子：4名、女子：1名）計5名で活動しています。練習としては、夏季は大会に向けて陸上競技場や学区外にて走り込み、冬季は来年度に向けて体育館やトレーニング室を利用した体力づくりトレーニングです。主な活動としては陸上競技大会・駅伝競走大会・マラソン大会などです。今年度の実績は陸上競技部として立ち上がる前、個人登録時の結果も交えて記載します。フロスト札幌（札幌陸上競技連盟チーム）として100m,800m,1500m,4×100mR

に参加、情報大ランナースとして千歳にて行われた

ノーザンホースパーク駅伝大会に男女混合チームで初出場し上位入賞。そして最も規模の大きい札幌市にて開催された北ガス42.195kmリレーマラソン大会では807チーム中122位。その他にも7つの大会に出場しています。

新しい部活動ではありますが、陸上部が強みとしているものは、全員が陸上経験者であり、なおかつ全学部生が揃っています。そのため勉強でわからない等がありましたら気軽に相談できる。部活動では初心者であっても1から部員が全力でサポートします。

いままで陸上を続けていて大学でも現役でありたい、大学から陸上競技に挑戦してみたいなど初心者から経験者まで幅広く募集しています。男女は問いません。マネージャーも大歓迎です。



陸上競技部は、「～ The track and field builds a new era ～」（陸上部が新しい時代を築く）を掲げ、さらなる高みへと部員で目指していければと思っています。何か部活動や学校生活について疑問に思うことや質問がありましたら、公式ツイッターもありますので、QRコードを読み取っていただき、お問い合わせ頂ければ幸いです。



硬式野球部



で考える力、課題発見力を身につけて



こんにちは。硬式野球部です。硬式野球部は現在 3 部リーグに所属し、部員 10 人全員仲良く切磋琢磨しながら活動しています。野球部の活動のメインは春と秋にそれぞれ行われるリーグ戦とトーナメント戦となっています。これらに向け練習、練習試合などを行っています。練習試合は年に 3 試合から 5 試合程度です。練習は金土日に週 3 回夏はグラウンド、冬は体育館やトレーニングルームで行っており、練習メニューは打撃を中心としています。

野球は、ボールに関わる時間より、止まっている時間のほうが長い競技となっています。従って試合中は考える時間が多いです。一球ごとに間合いが長く、一球ごとに場面が変わって次にどんなプレーが起こるか予想しなければなりません。その時、様々なプレーを想定して準備をします。準備を怠るとミスにつながります。野球では一つのミスが、試合の勝敗を大きく分けます。

また、練習は自分たちが中心となりチームに必要な練習を考えます。さらに個人練習を多く行えるのは自分の課題を各自理解しているからです。私たちは部活動を通して準備の大切さや、自分たち

ています。以上の活動は大学生活だけでなく社会人としても必要な力だと思います。しかし、課題も多く、連携体制や仕事の分担など改善すべき点がまだまだあるので、このオフシーズンの間に見直していきたいと考えています。

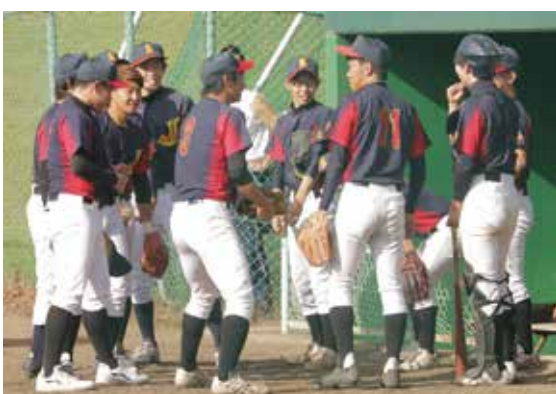
硬式野球部は仲のいい部活です。部活中だけでなく、普段の生活でも関わりが深いです。野球のプレーのことだけではなく、学習面でも勉強方法やテストの出題傾向を聞くことができるのでテスト対策がしやすいです。しかし、ただ仲のいいチームというわけではなく、グラウンド内や試合、練習のときには集中した雰囲気を作り、プレーに対する意見や取り組む姿勢など言い合えるメリハリのある集団です。

現在、4 年生が引退してから人数が減り、戦力もかなり落ち込んでしまいました。

しかし、オフシーズンの活動で、個人でレベルアップし、リーグ戦で上位になれるよう努力します。

硬式野球部は選手だけでなく、マネージャーも活躍しています。試合の時にはスコアを書き、練習中は、スムーズに進むよう道具の準備や選手のケア

をします。



また公式戦では主にマネージャーが運営を行います。公式戦の運営は授業だけでは学べないことがたくさんあり、様々な経験を積めるので、自分自身の成長につながります。選手、マネージャー全員が充実した大学生活を送ることができています。

硬式野球部は今年の夏に LINE や Twitter などの SNS を新しく開設しました。興味のある方は是非覗いてみてください。

応援よろしくお願いします。

北海道情報大学...
@dqa9209w



e スポーツ サークル

こんにちは！ e スポーツサークルです。私たちは、e-Sports の参加者として技術の向上を図るとともに、運営としての能力・知識の向上を目的として活動しています。

まず、初めに e-Sports を知らない方のために概要を紹介します。

e-Sports とは、対戦型ビデオゲームをサッカーやテニスなどのスポーツの一種として用いた競技のことです。

e-Sports に用いられるゲームの種類には FPS（一人称シューティング）や RTS（リアルタイム戦略ゲーム）の他、サッカーなどのスポーツゲームがあり、これらのゲームは反射神経や操作の正確さ、状況の素早い判断などが要求され、競技として技能を競うのに十分な要素を持ち合わせているとされています。

また、2018年2月に「日本 e スポーツ連合」が発足し話題になっています。

次に、これまでの活動と所感は以下の通りです。

・体育祭

「大乱闘スマッシュブラザーズ

Wii U」「マリオカート 8」「ボンバーマン」での、大会を開催しました。参加者は、100人以上とかなりの盛り上がりとなりました。

・蒼天祭

「大乱闘スマッシュブラザーズ Wii U」「マリオカート 8」「スプラトゥーン 2」「ぷよぷよ」の計4タイトルものゲームを集めイベントを開催しました。

初めて学外の方と交流し、勉強になったのはもちろん、やり甲斐を感じられたイベントとなりました。

・ハロウィン大会

「スプラトゥーン 2」での、大会を開催する予定でしたが、参加者が予定よりも少なく大会を開催することはできませんでした。しかし、集客方法と会場設営を学ぶ良い機会となりました。



2018年11月に新設されて日が浅く、まだまだ勉強不足な点もありますが、皆様とより良いイベントづくりができたと思っています。また、2019年からは、大会への参加も視野に活動していきたいと考えています。

蒼天祭などの学内行事の際は、イベントを行いますので、ぜひご参加ください。これからよろしくお祈いします！

入会希望や質問等は下記のアカウントに DM お願いします。

サークル Twitter ⇒ 北海道情報大学 e スポーツサークル @e01915960

部長 大窪



この先生の **もう一つの顔** シリーズ

第10回 福沢康弘先生

先端経営学部 准教授

コストマネジメントは
香り高い学問です。

2027年、先生が還暦を迎えるころ、そのウイスキーは瓶詰され、自宅へ送られてくる。まさに時空を超えた、夢とロマンにあふれた投資である。その酒ははたしてどんな味がするのだろうか。われわれ取材班もそのころには30歳を超えている。今から福沢先生と仲良くしておけば、もしかしたらご相伴にあずかれるかもしれない。そのころまでにはわれわれ取材班も、ウイスキーの味が分かる、いい大人になっているだろうか。

翌日、福沢先生の姿は203教室にあった。担当する「コストマネジメント」の授業のためである。昨晚、バーであれだけ飲んだにもかかわらず、次の日にはちゃんと授業をしていた。もちろん仕事なのだから当たり前である。この日の授業のテーマは「割引現在価値」。長期投資の場合、そこから得られるリターンは割引現在価値に直して検討する必要がある。もしかしたら先生は、この割引現在価値を教えるために、自らウイスキーという長期投資を行い、体験に基づいて学生を指導しているのではないだろうか。

われわれは1週間の尾行調査によって、福沢先生が大体週に4~5回はススキノにいることを確認した。さすがに「毎晩飲んでいる」というのは大げさだが、けっこうな回数であることに変わりはない。なぜそれほどまでにススキノに通うのか。授業の後、先生を直撃した。返ってきた答えは「そこにススキノがあるから」だった。

福沢先生の自宅はススキノから歩いて10分のところにある。「ほとんど毎晩、ススキノで飲んでいる」と公言してはばからない福沢先生には、学生の間で「そんなに毎晩飲んでいて、仕事はちゃんとやっているのか？」という疑念もささやかれている。

先生は本当に毎晩、ススキノで飲んでいるのか。そして仕事はちゃんとしているのか——真相を確かめるべく、われわれ取材班は尾行調査を敢行した。

●月●日。福沢先生の姿はススキノのほずれの、とあるバーにあった。マスターが1人でやっている、カウンター7席だけの小さな店である。先生はなにやら茶色い液体の入った小さなグラスを傾けていた。後日マスターに確認したところによると、その液体はシングルモルトウイスキーだそうで、先生はそれをストレートで楽しんでいたとのことである。マスターによると、シングルモルトはワインと同じくらいに、ヴィンテージや産地、樽によって風味が異なり、その違いを楽しむのがウイスキー通のたしなみだという。先生のお気に入り、スコットランドの中でも「スペイサイド」と呼ばれる地域のシングルモルトだそうである。

福沢先生はウイスキーに関してはかなりの知識の持ち主らしく、いつも店に来ると2時間ほど、マスターとウイスキー談義に花を咲かせるという。この店にある一番高いウイスキーは「マッカラン ゴールドラベル 50年」で、1ショット(30ミリリットル)で3万円する。福沢先生が今までにそれを飲んだことがあるかマスターに確認したが、個人情報という

ことで教えてもらえなかった。もっとも情報大の教員の給料では、そんな高い酒は飲めないであろう。

最近は厚岸に代表されるように、日本国内でも小さいながらこだわりのウイスキーをつくる蒸留所が増えてきた。「実は・・・」とマスターが耳打ちして

くれたところによると、どうやら福沢先生は、あるウイスキーの蒸留所に投資をしているらしい。「仲間と共同でウイスキーを樽ごと買っているはずですよ。共同購入なので1人あたりの分け前は2本ですが、それでもけっこうな金額を払ったらしいですよ」。

ウイスキーは蒸留してから樽の中で寝かせて、長期間熟成させてから瓶詰をする。福沢先生は投資として、仲間と樽を買ったというのである。熟成期間は10年。

平成30年度 北海道情報大学 公開講座終了報告



平成30年度北海道情報大学公開講座にご参加いただき、ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。
 おかげさまで28講座に多くのご参加をいただき、無事終了致しました事をご報告させていただきます。
 今後も本学の社会教育活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

| No. | 講座名 | 回数 | 参加者 | 備考 |
|-----|--|----|--------------|-----------------|
| 1 | 食のグローバル化と食のブランド化～これからの日本の農業～ | 1 | 一般 | |
| 2 | 自分がわかる教育カウンセリング～SGE体験(基礎講座)～ | 1 | 一般 | 教員免許状更新講習との合同開催 |
| 3 | あなたの情報は狙われている!!～詐欺の現状から個人情報特定まで～ | 1 | 一般 | |
| 4 | 教師のためのコミュニケーション～交流分析を学ぼう～ | 1 | 一般 | 教員免許状更新講習との合同開催 |
| 5 | 「かかりつけ医」「総合診療医」との上手な関り方や地域で果たす役割 | 1 | 一般・高齢者 | |
| 6 | ミステリーを10倍楽しく読む方法～日本ミステリーの特徴を知ろう～ | 1 | 一般 | |
| 7 | 伝統的なおもちゃ「水飲み鳥」で考える環境とエネルギー | 1 | 一般 | |
| 8 | これであなたもカウンセラー～初めてのアクティブラーニング(傾聴)体験～ | 1 | 一般 | 教員免許状更新講習との合同開催 |
| 9 | ナチュラルビジョン:ハイビジョンとは違う映像の高度化～忠実な色再現～ | 1 | 一般 | |
| 10 | 私たちの生活にかかせない画像処理技術～より安心・安全な生活を～ | 1 | 一般 | |
| 11 | ストレスマネジメントを知ろう～リラクゼーションを知る～ | 1 | 一般 | |
| 12 | さらに自分がわかる教育カウンセリング～SGE体験(応用講座)～ | 1 | 一般 | 教員免許状更新講習との合同開催 |
| 13 | あなたの知らないAR(拡張現実)の世界～SnowもポケモンGOもARだって知っていました!??～ | 1 | 一般 | |
| 14 | 素顔の韓国2018～地域経済研究の現場から見える隣国の「今」～ | 1 | 一般 | |
| 15 | 食品の健康情報のミ・カタ～健康食品を事例に～ | 1 | 一般 | |
| 16 | 夏休み自由研究教室～子どもビデオ編集体験講座・目指せ映像監督～ | 2 | 小学3～6年生 | |
| 17 | あなたの健康を支えるIT技術～あんな所にAI(人工知能)が!??～ | 1 | 一般・高齢者 | |
| 18 | 夏休み自由研究教室～子どもプログラミング入門・自分でアニメやゲームを作ってみよう!!～ | 1 | 小学4～6年生 | |
| 19 | MS Officeを使いこなす(夏期) | 1 | 一般 | 教員免許状更新講習との合同開催 |
| 20 | 夏休み自由研究教室～ロボットで科学を学ぼう・中学生編～ | 1 | 中学生 | |
| 21 | 夏休み自由研究教室～ロボットで科学を学ぼう・小学生編～ | 1 | 小学校高学年とその保護者 | 親子11組 |
| 22 | 地縁を紡ぐ「共生」～少子高齢社会を生きるために～ | 1 | 一般・高齢者 | |
| 23 | MS Officeを使いこなす(秋期1) | 1 | 一般 | 教員免許状更新講習との合同開催 |
| 24 | 食と健康! 情報を食べる～身近にある食品や栄養の情報を活用しよう～ | 1 | 一般 | |
| 25 | デジタルビジネス入門講座②～デザイン思考で新しいビジネス創りを体験しよう!～ | 2 | 一般 | |
| 26 | アニメーション実験室～アニメをより身近に親しむ制作体験～ | 2 | 一般 | |
| 27 | オーロラって何だろう!? 第二弾～オーロラが見えなくなる?～ | 1 | 一般 | |
| 28 | 集団・組織づくりに役立つ教育カウンセリング講座～SGE体験～ | 1 | 一般 | 教員免許状更新講習との合同開催 |
| | 合計 | 31 | | |



大学主要行事など <7月1日~1月31日>

◆◆ 教職員の動向 ◆◆

9月1日付
《教員》
採用 准教授 柿並 義宏 (情報メディア学科)
講師 佐藤 隆雄 (システム情報学科)

10月1日付
《大学職員》
就任 アドミッションセンター広報室課長補佐 高清水 靖和
(アドミッションセンター広報室係長)
アドミッションセンター入試課係長 對馬 聡子
(アドミッションセンター入試課主任)
会計課主任 千葉真美子
(会計課)

10月31日付
《大学職員》
退職 図書館事務室長 高田かおり

11月1日付
《大学職員》
採用 図書館事務室長 菅原 恭子

11月30日付
《大学職員》
定年退職 事務局次長兼アドミッションセンター長兼広報室長 大橋 正典

12月1日付
《法人職員》
兼務 アドミッションセンター長兼広報室長 山本 徹
(法人本部長)

◆◆ 主要行事 ◆◆

◇大 学◇
7月 6日(金) 南京大学陳駿前学長への名誉博士号授与式
9日(月)~14日(土) 保護者授業参観
15日(日) オープンキャンパス、AO入試・奨学金説明会
28日(土)~29日(日) 留学生宿泊研修
29日(日) オープンキャンパス特別編
8月 5日(日)~6日(月) AO入学試験
10日(金)~11日(土) 宇宙展
11日(土) 同窓会総会
12日(日)、26日(日) オープンキャンパス
9月 8日(土)~9日(日) AO入試(B日程)・高大連携特別AO入試
20日(木) 後期スタートアッププログラム、消防訓練
22日(土) AOセミナー
10月 6日(土)~7日(日) 大学祭(蒼天祭)
6日(土) 同窓会との意見交換会
7日(日) オープンキャンパス
13日(土)~14日(日) AO入学試験(B・C日程)
18日(木) 理事会・評議員会
20日(土) 保護者と教員との懇談会
24日(水)~26日(金) 秋の食生活改善運動
11月 4日(日) AOセミナー
18日(日) オープンキャンパス

25日(日) 公募制推薦1期入学試験
27日(火) 健康経営フォーラム
12月 15日(土) 編入学試験(2次募集)、特別AO入学試験(A日程)
1月 12日(土) 特別入学試験
26日(土) 大学説明会
27日(日) 公募制推薦2期入学試験、特別AO入学試験(B日程)

◇大学院◇

8月 8日(水) 学位論文等中間報告会
(兼 北海道情報大学学術奨励学生選考会)
9月 28日(金) 大学院入学者選抜試験(1次募集)
12月 3日(月)~5日(水) 学位論文等事前審査会
1月 31日(木) 学位論文等公開発表会

◇通信教育部◇

7月 9日(月)~12日(木) 前期IPメディア授業科目試験
21日(土)~22日(日) 前期印刷・インターネットメディア授業科目試験②
30日(月)~8月 4日(土) 夏期スクーリング(1)
8月 6日(月)~11日(土) 夏期スクーリング(2)
28日(火) 平成30年度秋期第1回入学者選考
29日(水) 秋田教育センター、新潟教育センター 大学見学
9月 7日(金) 平成30年度秋期第2回入学者選考
18日(火) 平成30年度秋期第3回入学者選考
10月 3日(水) 平成30年度秋期第4回入学者選考
19日(金) 平成31年度春期第1回入学者選考
11月 7日(水) 平成30年度秋期第2期入学者選考
15日(木) 平成31年度春期第2回入学者選考
17日(土)~18日(日) 後期印刷・インターネットメディア授業科目試験①
30日(金)~12月 2日(日) 後期地方スクーリング(1)(福岡)
12月 3日(月)~6日(木) 後期IPメディア授業科目試験
7日(金) 平成31年度春期第3回入学者選考
14日(金)~16日(日) 後期地方スクーリング(1)(札幌、新潟、名古屋、大阪、広島、福岡、大分、鹿児島、沖縄)
21日(金)~23日(日) 後期地方スクーリング(1)(名古屋、福岡)
後期地方スクーリング(2)(新潟、北九州)
1月 11日(金)~13日(日) 後期地方スクーリング(2)(本学、東京)
17日(木) 平成31年度春期第4回入学者選考
26日(土)~27日(日) 後期印刷・インターネットメディア授業科目試験②

◇法人本部◇

10月 18日(木) 理事会・評議員会
11月 28日(水)~30日(金) 有限責任監査法人トーマツ「平成30年度期中監査」

◆◆ 国際交流関係来学者 ◆◆

7月 6日(金)~8日(日)
中国・南京大学
陳駿 前学長への「名誉博士号」授与式
(前学長1名、教員3名)
7月 13日(金) アメリカ合州国から映画PRの上映会開催
(在札幌米国総領事館領事1名、関係者1名、
米国映画監督1名)
8月 27日(月)~9月 5日(水)
タイ国・ラジャマングラ工科大学タンヤブリ校との
共同プロジェクト(学生18名、教員6名)
8月 3日(金)~10月 31日(水)
タイ国・ラジャマングラ工科大学タンヤブリ校よりイ
ンターンシップ受入(学生3名)

北海道情報大学 平成31年度(2019年度)学年暦

4月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | | | | |

5日 入学式
6日～11日 前期 STP
12日 前期授業開始
27日 月曜授業日

10月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |

11日 授業休講
10日 月曜授業日
12日～13日 蒼天祭
26日 保護者と教員の懇談会

5月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |

10日 創立記念日
13日 前期前半 授業終了
14日～15日 体育祭
17日 前期後半 授業開始

11月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

19日 後期前半 授業終了
20日 後期後半 授業開始

6月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | | | | | | |

10日 創立記念日
13日 前期前半 授業終了
14日～15日 体育祭
17日 前期後半 授業開始

12月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 | | | | |

25日～ 年末年始休業期間

7月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | 31 | | | |

15日 通常授業日

1月(2020年)

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |

～5日 年末年始休業期間
6日 授業開始
18日・19日 センター入試(立入禁止)
28日、29日 合同試験日
31日～ 春季休業期間

8月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

3日 金曜授業日
9日、10日 合同試験
9・10日 AO入試(一部立入制限)
13日～ 夏季休業期間
19日～28日 夏期集中授業期間
29日～ 追再試験期間

2月(2020年)

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |

2・3日 一般1期入試(一部立入制限)
3～8日 冬期集中授業期間
10日～15日 後期追再試験期間

9月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | | | | | |

～4日 追再試験期間
～17日 夏季休業期間
18日 後期STP
19日 後期 授業開始
23日 通常授業日

3月(2020年)

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 | | | | |

18日 学位記授与式日程

前期 前半授業期間
前期 後半授業期間
集集中授業期間
他曜日授業
スタートアップ
学生イベント



金和輝
ななかまど
初参加です。写真の
大きさの調節で苦労し
ましたが、担当のキャン
パスだより3ページを大
きなミス無く出来て良
かったです。



中島菜津美
今回は2回
目だったので特に苦労
した点はなく、どのレ
イアウトがベストか考
えて作成するのが楽し
かったです。DTPの勉強
になります。



畠中紗彩
今回は1
ページに2
つの内容を
入れなければいけ
なかったで、どうしたら綺
麗に収まるか考えるのが楽
しかったです。ポートフォ
リオに使えますよ！



田中海夕
留学生の日本
語弁論大会を担
当しました。文
字が多い
ページであまり自由にレ
イアウト出来なくて難し
かったです。今度は自由
にやりたい！(笑)



山口稜太
ななかまど
の編集を担
当するのが
2回目とい
うこともあ
り、前回に比
べ、早いス
ピードで仕
上げる事が
出来ました。
スキルアップ
になりますよ。



石崎柊生
ななかまど
を編集する
のが初めて
だったのも
あり、特に
写真のレイ
アウトに苦
労しましたが、
貴重な経験
ができて楽
しかったです。
印刷データ
の勉強にな
りますよ。



中野葵
新任の先生
の紹介だっ
たので、紹
介文に目が
いくように
なるべくシ
ンプルに作
成しました。
新任の先生
達の実績が
すごいです
ね。興味を
持ちました。



辻栄明希
帆宇宙展を
担当しまし
た。子ども
も参加して
いるイベン
トだったので、
楽しい雰囲
気が伝わる
ようなデザ
インにしま
した。イラ
ストを活か
せて良かった。



長崎伽耶
サークル紹
介を担当さ
せて頂きま
した。写真
の大きさと
文字の位置
を調整する
のが難しく
感じました。
レイアウト
のための写
真がもう少し
欲しかったです。



田中綾夏
P24を担当
しました。途
中で内容が
変更になっ
て大変な部
分もありま
したが、な
んとか仕上
りました。ど
のようなデ
ザインにす
るか考える
のが難しか
ったですが、
楽しかったです。



遠藤めぐみ
わたしは！
せつかくの
デザインの
チャンスを
スケジュール
が合わずに、
できませんでした。
次回は！必ず！
いい物をお届け
します。

編集隊募集中！

現在もななかまどと一緒に編集してくれる方を募集しております。

学年、学科など何も問いません。

興味ある方はぜひ一緒にななかまどを作りましょう！

興味がある方は、m.sugisawa@do-johodai.ac.jp にメールを送るか、
情報メディア学部・杉澤研究室（杉澤 133）までお越しください。